

資料No.12-2

令和6年2月6日  
交 流 文 化 部

# 六呂師高原開発計画

(案)

令和6年 月

六呂師パークコンソーシアム（仮称）・

福井県・大野市

## 六呂師高原開発計画（案）

### 目 次

1. 六呂師高原開発におけるコンセプト・事業実施方針	P. 1
事業コンセプト	
施設の整備方針	
2. 施設や設備の規模、内容、イメージ図	P. 3
A ミルク工房・イベント広場エリア	
B うらら館エリア	
C サンスポーツランドエリア	
D スキーパーク跡地エリア	
E 牧場エリア	
F 自然保護センターエリア	
G 円山公園エリア	
3. 概算事業費	P. 7
4. 整備運営手法・事業実施体制	P. 7
整備運営手法	
事業実施体制	
5. 各プレイヤー間の連携施策	P. 9
6. ソフト事業の展開	P. 10
7. 事業スケジュール	P. 12

## 1. 六呂師高原開発におけるコンセプト・事業実施方針

### 事業コンセプト

#### 六呂師高原の自然を活用した環境負荷の少ない滞在型アウトドアアクティビティの展開

六呂師高原は、日本三百名山に選ばれる経ヶ岳の南西山麓の標高約 400～700m に広がる台地で、日本一美しい星空や経ヶ岳火山の山体崩壊による岩屑なだれ堆積物等の地域資源を有しています。この地域のもつ地域資源を活かし、滞在型アウトドアアクティビティを展開していくことで、六呂師の活性化を図っていきます。

六呂師高原の開発にあたっては、大規模開発を行うのではなく、豊かな自然環境や既往の施設を活用した、環境に対して低負荷な事業を行っていきます。滞在型アウトドア施設整備といったハード事業と並行してソフト事業を豊かにすることで、六呂師高原を旅の目的とする多様なコンテンツを企画し、アウトドアファン、ファミリー層、高級グランピング志向の方々などの利用を促進します。

#### 【主な地域資源】

- ① 「ソ ラ」－六呂師高原の美しい星空
  - ・光害の影響のない、暗い自然の夜空を保護するため、ダークスカイ・インターナショナルが提唱する星空保護区の「アーバン・ナイトスカイプレイス」カテゴリーでアジア初の認定を受ける
- ② 「ダイチ」－大地の記憶 岩屑なだれ堆積物
  - ・5000 年以上前に経ヶ岳火山による山体崩壊による塚原野を含む岩屑なだれ堆積物が点在した風景
- ③ 「高 原」－奥越高原牧場と酪農資源
  - ・奥越高原牧場と提携した酪農の新しい在り方を模索する六次化事業展開の可能性



### 施設の整備方針

#### 〇六呂師高原全体を7エリア（A～G）に分割し、エリア特性に合わせた整備を実施

広大な敷地の中にあるエリアの特性や既存施設を考慮してA～Gの7つの開発エリアを設定しました（7エリアについては、「2. 施設や設備の規模、内容、イメージ図」を参照）。

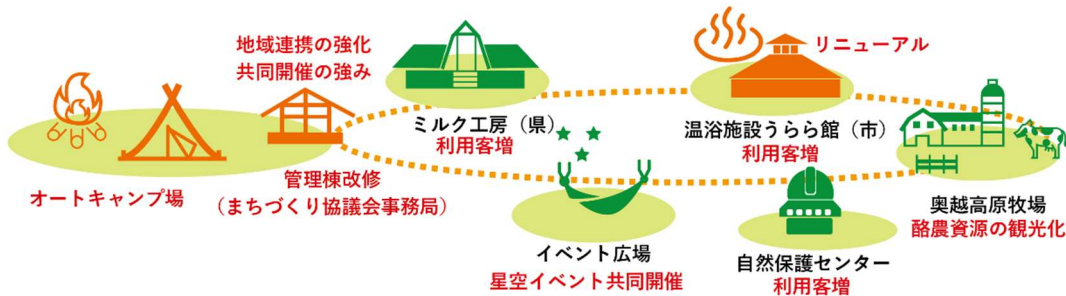
全体コンセプトやデザインを整えながらエリア毎の個別開発を行うことを前提に、Aエリアの開発に着手、その後は社会情勢や入込客数等を勘案しながら、段階的な事業展開を検討していくこととします。

【環境負荷を軽減した持続可能な開発イメージ】

### STEP1

(ハード) 県・市有施設のあるA Bエリアにオートサイトキャンプ場整備。

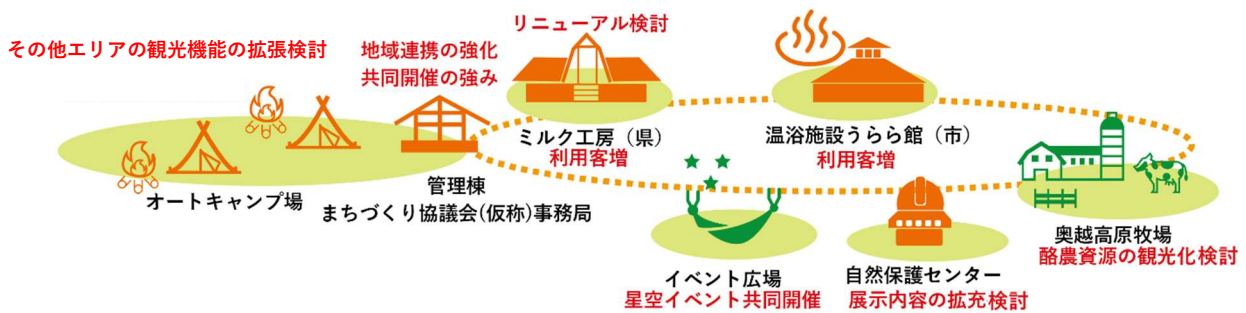
(ソフト) 管理棟をまちづくり協議会(仮称)事務局とし地域の連携、コンテンツの強化を図る。



### STEP 2

(ハード) 収益の安定に伴い、まちづくり協議会(仮称)のデザインコード(トーン・マナー)に合わせた段階的な事業の展開。

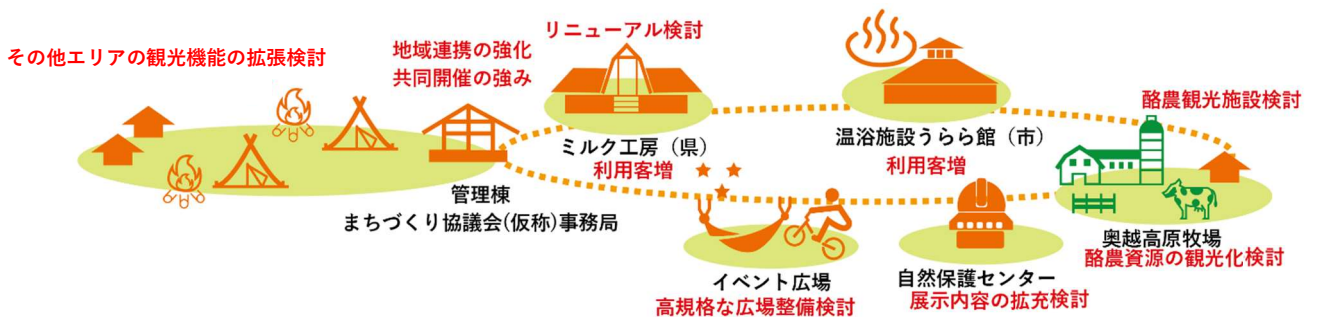
(ソフト) エリアごとの開発に合わせてコンテンツの強化と拡張を図る。



### STEP 3

(ハード) エリアの活性化に伴い、さらなるエリアの観光機能の拡張を図る。

(ソフト) リニューアルされたエリアに合わせてコンテンツの強化と拡張を図る。



## ○アウトドアに関わる多様なニーズに合わせた施設バリエーションの展開

各エリアを機能的に特化したものにして顧客満足度を満たすエリア開発を目指します。「何でもできる場所」ではなく「○○したい場所」にすべく施設の多様化を図ります。

## 2. 施設や設備の規模、内容、イメージ図

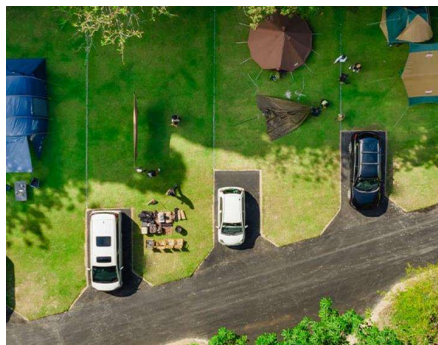
### A ミルク工房・イベント広場エリア

【顧客層】観光客、一般キャンパーユーザー(ソロキャンパー、家族連れを含む広い層)、サウナファン

【整備内容】

#### ① オートサイトキャンプ場 (約 40 区画)

- ・車が出入りできる電源ポール付きの高規格のキャンプ場
- ・アウトドア初心者でも気軽に利用可能
- ・冬季利用が可能なインスタントハウスを設置



#### ② フリーサイトキャンプ場 (約 20 区画)

- ・スペースが区切られているため、混雑時でも自分の場所が確保される
- ・サイト内ならテントもタープも自由にレイアウトが可能

#### ③ 管理棟 (ウォーキングセンターを改修)

- ・コンシェルジュ機能を担う施設
- ・受付、貸出、軽飲食を可能にしたセンター機能の整備  
(ネット決済、Wi-fi 環境等を整備し、利用者の利便性を向上)



#### ④ サニタリー棟 (2 棟)

- ・ドライ仕様のトイレ、洗面、炊事スペース、灰置場を完備し、キャンプ機能を拡充



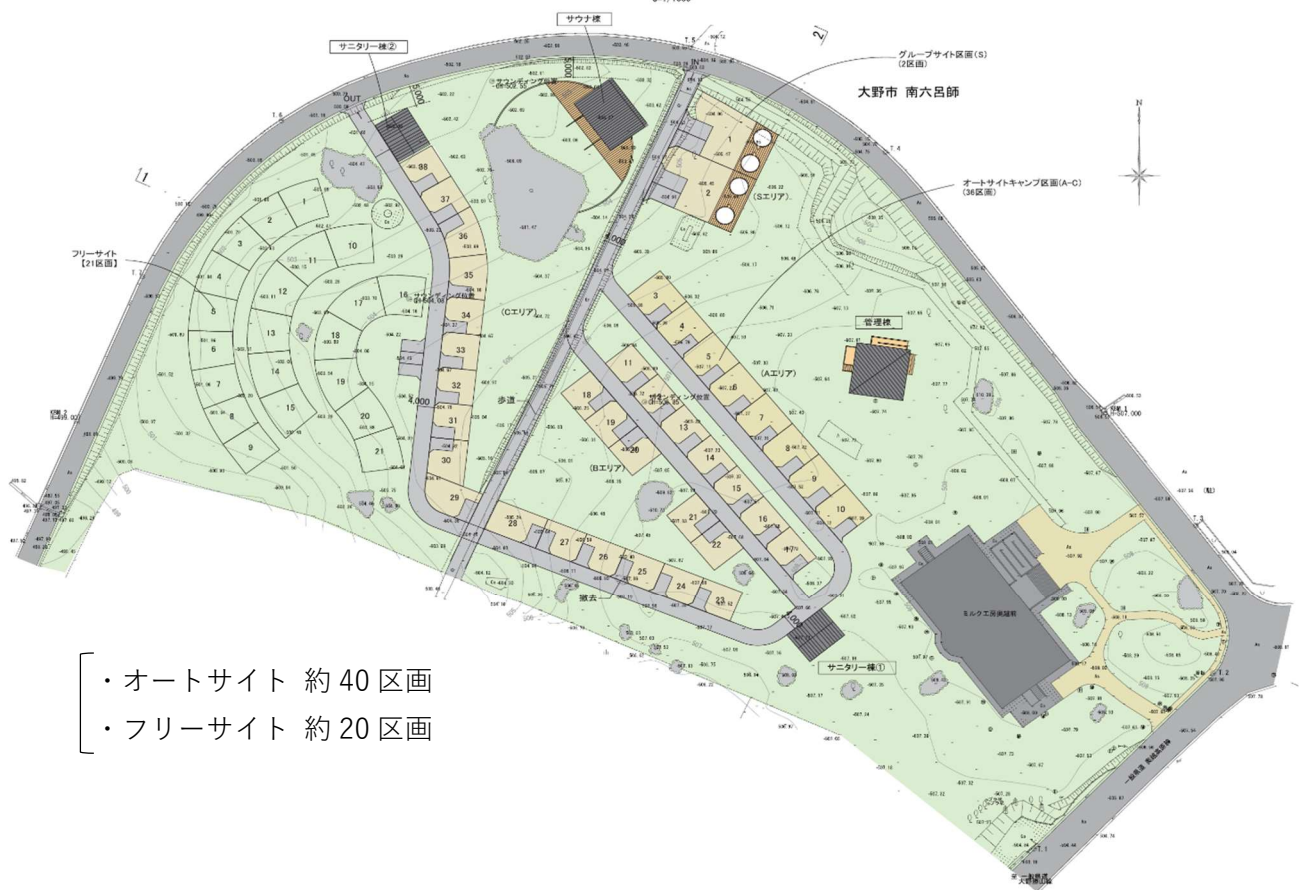


⑤ サウナ棟 (大地の息吹を感じる岩屑<sup>がんせつ</sup>SAUNA)

- ・岩屑なだれを囲い型で体験できる男女・貸切サウナ施設
- ・キャンプ場利用者だけでなく、日帰り利用も可能



【配置イメージ】



- ・アウトサイト 約40区画
- ・フリーサイト 約20区画

⑥ イベント広場

- ・ミルク工房前の駐車場スペースはイベント広場としても活用することとし、星空イベントやランタンナイトなどの会場として機能継続、イベント活用の強化を行う (イベントの事例は、「6. ソフト事業の展開」を参照)

## B うらら館エリア

【顧客層】幅広いアウトドアアクティビティの利用者や温泉利用者、観光客

- ・ Aエリア（キャンプ場、サウナ施設）と連携した利用を想定
- ・ うらら館の更新、改修（木質バイオマスボイラの導入など）
- ・ 星空イベントなどでミルク工房前駐車場を活用する際にはうらら館前に駐車場を集約するなどハード、ソフトの連携を行う
- ・ エリア内に立地する老朽化や今後の活用が見込めない施設（六呂師ハイランドホテル、妻平ヒュッテ等）は解体を行い、自然景観の保全を図る

## C サンスポーツエリア

【顧客層】サテライト会場利用者、各エリア滞在者のスポーツ利用者

- ・ ハード整備を行わない中で、イベントサテライト会場やスポーツ区画としての活用策について、官民で継続して検討

## D スキーパーク跡地エリア

【顧客層】高級グランピングユーザー、MTB ダウンヒルなどソフト利用

- ・ 可変的な室数を持つグランピング施設の整備

## E 牧場エリア：楽しめる牧場への機能拡充、酪農を地域資源とした「ふれあい体験」などの活動

【顧客層】観光客、体験型ツーリズムユーザー

## F 自然保護センターエリア： 星空や自然資源を親子が楽しみながら「体感」できる展示内容等に拡充

【顧客層】観光客、一般キャンプユーザー（ソロキャンパー、家族連れを含む広い層）・学生

※「牧場エリア」「自然保護センターエリア」における個別の事業内容は、今後関係者等との協議のうえ、決定

## G 円山公園エリア

【顧客層】観光客、一般キャンプユーザー（ソロキャンパー、家族連れを含む広い層）

- ・ 電源、駐車場を備えたオートサイトキャンプ場、イベント広場の整備









### 3. 概算事業費

STEP1として整備するAエリアの概算事業費は約4億円を想定しており、項目ごとの費用は以下を見込んでいます。

(単位：千円)

整備項目	費用(税込)	内 容
土木工事	87,007	キャンプサイト整備工、敷地造成工、施設内道路整備工 等
建築工事	284,957	サニタリー棟/サウナ棟新築工事、管理棟改修工事、 電気設備、給排水設備工 等
設備設置費	27,500	インスタントハウス設置、電子決済システム構築 等
施設管理運営備品	11,163	管理棟/サニタリー棟/サウナ棟備品
	410,627	

なお、他エリアは社会情勢や入込客数等を勘案し、事業計画を立てていく中で事業費を算出することとします。

### 4. 整備運営手法・事業実施体制

#### 整備・運営手法

Aエリアのキャンプ場およびサウナ施設の整備・運営は、複数の民間事業者で構成される特別目的会社「六呂師パークコンソーシアム（仮称）」が担うこととします（「民設民営」）。B～G エリアについては、社会情勢や入込客数等を勘案しながら検討することとします。

#### 事業実施体制

六呂師パークコンソーシアム（仮称）が主導し、地元事業者や団体、関係者等が互いの利点を持ち寄りながら、六呂師高原活性化の継続と安定を図ります。

プレイヤーごとの主な役割分担案は以下のとおりです。

#### 【六呂師パークコンソーシアム（仮称）】

- 六呂師高原活性化に係る全体の企画／コーディネート
  - ・ 既往の団体や新規参入する事業者等と協働し、行政、民間で一体に取り組む横串連携の推進
- キャンプ場およびサウナ施設の整備・運営
  - ・ 整備する際には、福井県産木材の利用や福井地場の協力会社との連携を検討
  - ・ 地元雇用（UターンやIターン）を基本とした運営スタッフの採用
- キャンプ場およびサウナ施設の開放
  - ・ キャンプ場内で福井県、大野市内の小中学校の子供達の地元愛、環境意識を育むプログラムを実践
  - ・ 災害等が発生した場合において、キャンプ場の敷地を避難場所及び物資集積場所として提供

○イベントの開催

- ・週末に行う地域マルシェ開催から大掛かりなライブフェスまで、規模の大小問わないノウハウをもった民間アイデアによる地域イベントを開催

**【福井県】**

○A エリアの施設整備への支援

- ・六呂師高原の活性化を進めるうえで、民間事業者の呼び水となるよう、A エリアの施設整備を支援

○イベント開催事業者への支援

- (例)・音楽フェスやアウトドアイベント 等

○恐竜博物館からの誘客強化

- (例)・恐竜博物館の入館券と六呂師高原での宿泊とをセットにした共通チケットの造成
- ・六呂師高原と恐竜博物館間を結ぶバス運行 等

○県内外客 双方の利用促進/施設の公共性確保

- (例)・平日など利用の少ない日にキャンプ施設を、学校行事や子供会の行事などで貸出
- ・高原内に立地する奥越高原青少年自然の家や自然保護センター等で行っている野外活動や集団生活をキャンプ場内で実施

**【大野市】**

○トロン温浴施設うらら館、基幹インフラの整備/更新

- ・うらら館の木質バイオマスボイラの整備 等
- ・水供給施設等の基盤インフラを整備・更新

○地元団体や農家/酪農家等への連携支援

- ・地元団体や農家、酪農家等と六呂師パークコンソーシアム（仮称）との意見交換、協議の場を設定

○星空関連商品の開発支援

- ・星空観光コンテンツなどの開発、観光商品化を支援

○イベント開催事業者への支援

- (例)・音楽フェスやアウトドアイベント 等

○地域おこし協力隊等の活用

- ・六呂師高原を中心とした自然資源活用によるアウトドア観光サービスのプロデュースや、キャンプ場の管理運営企画任務への配役
- ・任期終了後の隊員の定住促進

**【地元経済界（観光ビューロー・地元関係団体など）】**

○キャンプ場でのイベント開催、アウトドアアクティビティの実施

- ・アルプス音楽祭、星降るランタンナイト、星空ハンモックなど既存イベントの魅力の磨き上げ
- ・ツリークライミング、スノーシュー等のアクティビティを継続して実施

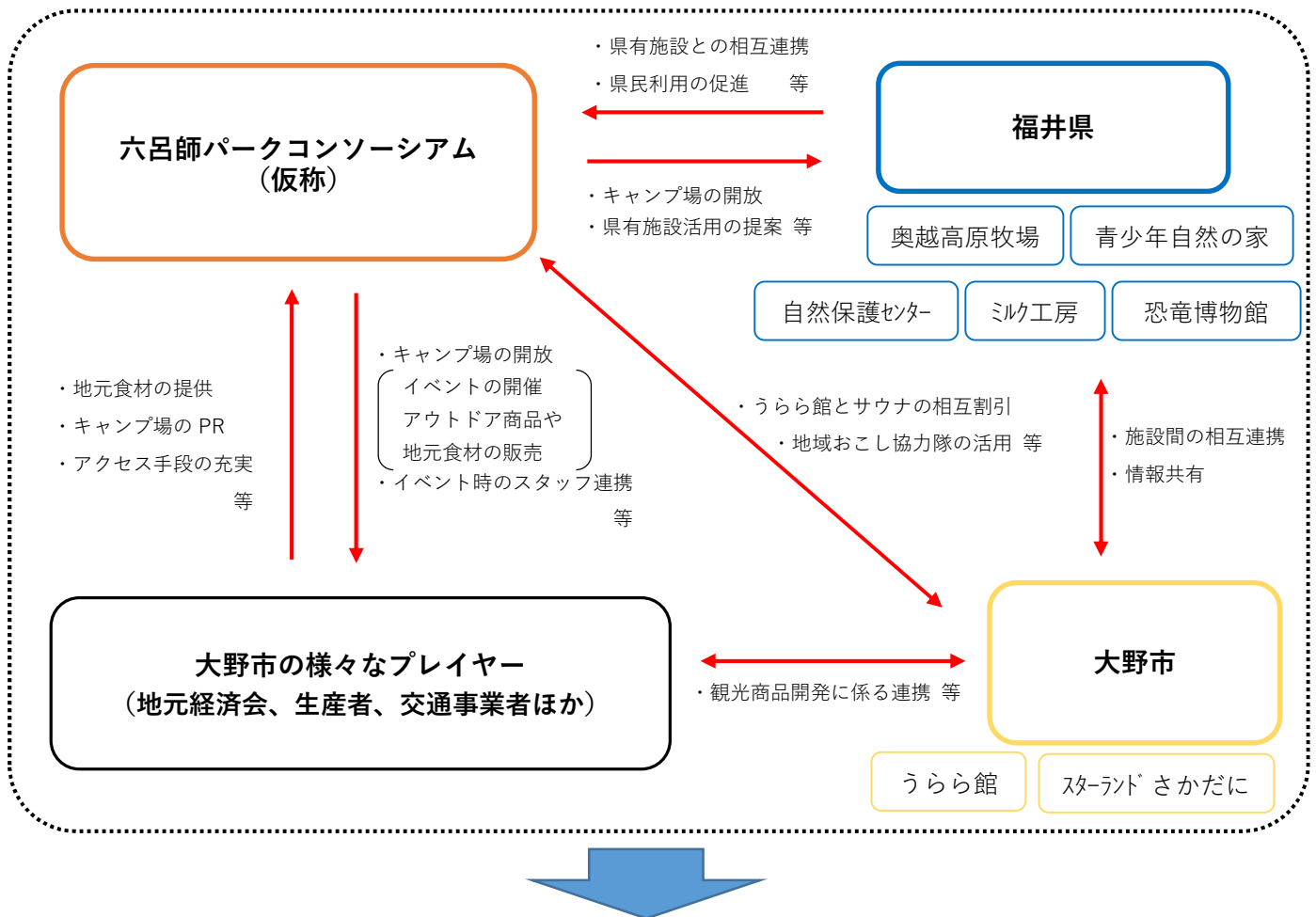
- アウトドア関連商品の開発  
 (例)・地元商工会議所が開発した星空観察用のサングラス 等
- 六呂師高原の PR/情報発信  
 ・各方面へのキャンプ場を含む六呂師高原の PR/情報発信の強化

## 5. 各プレイヤー間の連携施策

六呂師高原活性化に携わる各プレイヤーの相互連携を大切にして地域全体でエリアを活性化する仕組みづくりを行います。

- ・まちの地域資源である自然環境や農産物などは消費や購入を伴う「相乗効果」できる連携
- ・まちの宿泊施設やアウトドア施設は日中の居場所づくりや観光利用による「相互補完」できる連携

○プレイヤー間の地域連携イメージ



**相互連携・補完により、プレイヤー全員で持続可能な六呂師高原の活性化を推進**



## 6. ソフト事業の展開

六呂師高原におけるソフト事業は日常から非日常まで様々な頻度にイベントを開催し、一年を通して人がアクティビティを行う体制をつくり、展開します。整備エリア毎のエリア連携と既存イベントとの地域連携を行い面的な広がりを目指します。

### ① 地元アクティビティ事業者と連携したオプションツアーの造成（日々）

- ・ 宿泊、日帰り問わず高原ゲストに対するアウトドアアクティビティの提供
- ・ グリーンシーズン：トレッキングツアー、MTB ツアー、トレランツアー、MTB レンタル
- ・ スノーシーズン：スノーシューツアー、バックカントリーツアー、スノーモービル体験



### ② 地域事業者発による定期的なイベント開催（月1～2回程度）

- ・ 希望する事業者主催によるイベント広場を活用した各種イベントの開催（星空ハンモック 等）
- ・ ミルク工房やうらら館と協働した物販イベントなどの開催



### ③ 関連事業者協働で季節ごとに開催するイベント（3ヶ月に1回）

- ・ 連携企業、団体によるマルシェの開催
- ・ 星空イベントの共催や同時イベントの開催



④ 野外フェスなど大規模不定期イベント（年1回）

- ・ 広大な広場や駐車場を活用したイベントの開催

(例)・佐賀県の県営公園で開催しているキャンプフェスの横展開：Karatsu Seaside Camp 等



- ・ 既存イベントの魅力の磨き上げ：アルプス音楽祭、星降るランタンナイト 等



⑤ 六呂師環境エコスクール（毎年、定期開催、地元小中学校との連携）

自治体（福井県・大野市）の小学校の環境教育として、キャンプ場内でエコスクールイベントを開催。環境意識や防災対応能力を高める教育機会を創出します。

A 非認知能力を高めるキャンプ活動

子供たちが豊かな自然環境でキャンプを過ごすことで子供たちが自然、天候、生態系について学び、環境問題への理解の深まりや環境保護への関心、非認知能力の向上を目指します。

※非認知能力：テスト等から測れる能力と異なる社会性、コミュニケーション能力、自制心等

B 防災対策力を高める防災キャンプ活動

子供たちが豊かな自然の中で限られた物資や自然の環境下の制約条件のある中で、寝食をおこなうことで災害時のレジリエンス力の強化を目指した取り組みを行います。

※レジリエンス（resilience）：「回復力」「復元力」「弾力」

【防災キャンプのコンテンツ例】

- ・ 一輪車でがれきを運ぼう
- ・ 毛布担架で水運びリレー
- ・ 災害用トイレ見学、トイレ用テント設営
- ・ 携帯トイレの使い方
- ・ 防災かまどオープン、火起こし
- ・ 湯煎料理、防災食の備蓄食キャンプ

C 地域資源を生かした星空キャンプ

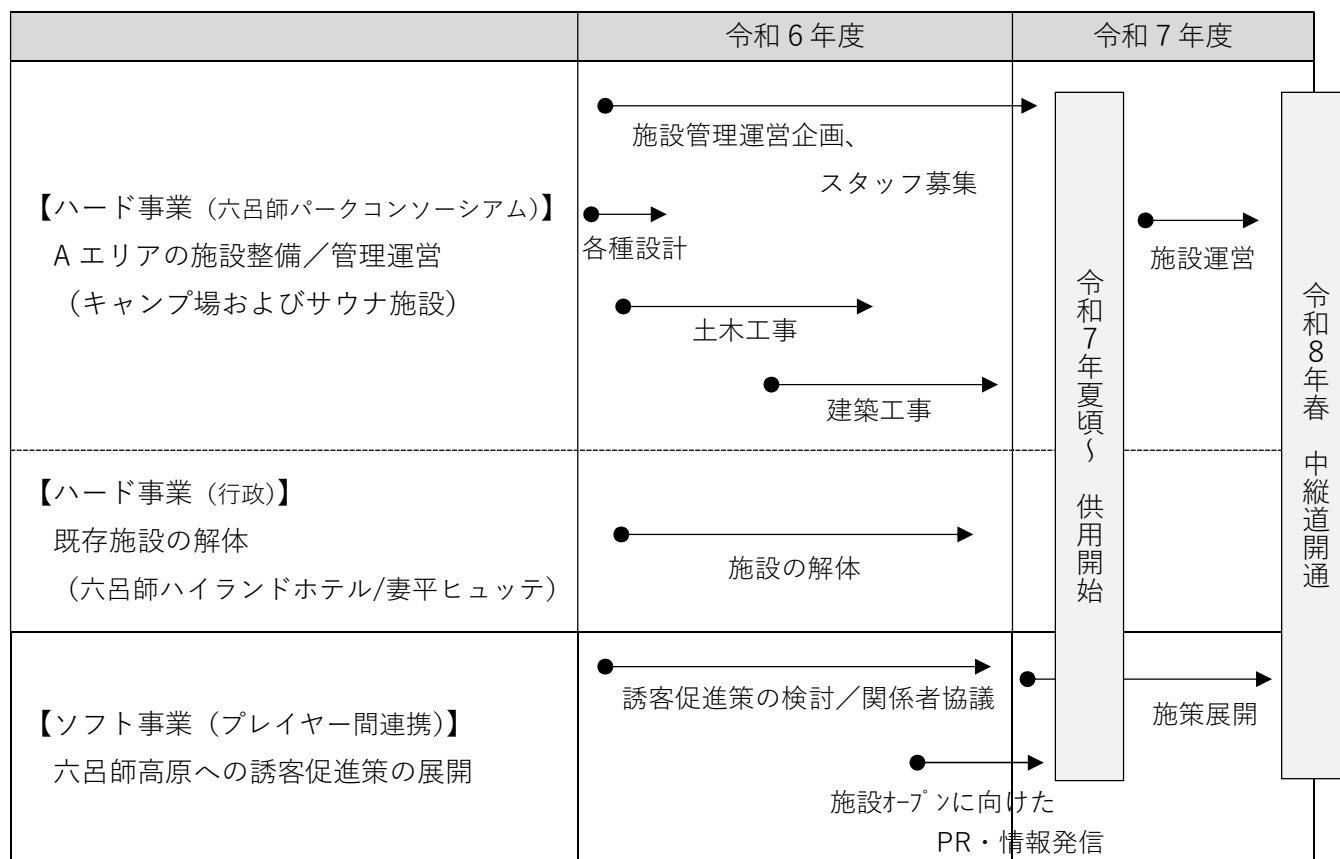
日本で4番目に星空保護区に認定された六呂師高原の星空を貴重な「地域資源」として捉えて、星空観察とランタンナイトイベントを開催。地域への愛着と星空が見える環境から環境保護への関心を目指します。

#### D 冬の雪中キャンプ体験

全国でもなかなかみられない雪中キャンプを展開し、冬季の屋外における暖の取り方を学ぶとともに、雪合戦や氷の彫刻づくりなど冬の特別な思い出となるような取り組みを行います。

### 7. 事業スケジュール

六呂師高原活性化事業のスケジュールを以下のように設定します。



Aエリア以降のハード整備事業については社会情勢や入込客数等を勘案し検討することとします。